

令和3年11月26日

令和3年度 専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校
学校関係者評価報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校 学校関係者評価委員会は「令和3年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和3年度学校関係者評価委員会

- 学外委員 木内 清 様 (愛媛信用金庫 地域事業振興部長)
松原 忠史 様 (株式会社ユイ・システム工房 システム技術部 部長)
菅 明偉 様 (専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校 卒業生)
藤原 和子 様 (専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校 在校生保護者)
- 学内委員 松岡 由紀子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
室 利幸 (専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校 校長)
岡田 善雄 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
重信 克也 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部次長)
菅野 良輔 (専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校 情報システム学科 学科長)

2. 実施内容

- 開会、出席者紹介、校長挨拶
- 自己評価報告 (1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献
- 校舎・施設見学
質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<学修成果>

- ・専門学校にとって資格取得は重要であり、担当教員の資格取得率に対する意識付けや取組みを更に明確にして全国平均より高い合格率を目指す。
- ・年度毎に卒業生による SNS のグループについては、教員も積極的に参加し卒業後の状況把握に活用していく。

<学生支援>

- ・学生相談に対する取組みとして、就職関連ではキャリアセンターが個別に学生に対してきめ細かく対応している。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については、愛媛県の指導のもと感染対策を徹底し、抗原簡易キットによる検査を実施することができる体制を整備した。

<教育環境>

- ・情報システム学科では、昨年度より 1 年生全員にノート PC を貸与しており、学校・自宅等使用頻度は向上している。またソフトウェアについても学内で管理しており適切にバージョンアップを行っている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、Web 会議ツール「Zoom」等を利用した遠隔授業を実施した。就職活動についても東京、大阪等遠隔地の企業の面談も「Zoom」を活用して行っている。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

- ・少子化が進み人手不足になる状況において、求人や就職状況はどうか。

回答：就職状況について、就職を希望している学生は、本人が希望する職種に就職できている。比較的本校の学生は、就職に関しては恵まれている状況にある。

情報系学科の高校生のニーズは比較的高く、本校は 2 年制で短期集中して勉強し、社会に即戦力として出ていくことなど、就職の実績や資格取得状況も他校競合校との違いを積極的にアピールしていく。

- ・パソコンを一人 1 台入学時に貸与していることはとても良く、最新のスペックが利用できていることは評価できる。更に専門学校として大学にない良さを高校生にアピールしてほしい。
 - ・卒業生の意見として、専門学校の中で本校を選んだ理由は、面倒見の良いところや先生が真摯に対応してくれると感じたことで、今後も継続して行ってほしい。
- 回答：少人数で学生全員の顔と名前が一致することや、一人ひとりきめ細かく指導できるメリットを Web や SNS を活用した広報活動を積極的に行っていく。

- ・学生が多く一人ひとりに目が行き届かない学校よりも、先生との距離が近いことがこの学校の魅力の一つであり、就職に関してもコロナ禍の中で私の子供の就職がスムーズに決まったことに感謝している。